北海道足寄郡足寄町 50.4.1 足寄町議会受付

とかち新聞
主筆 松山明
（発行所）北海道足寄郡足寄町 とかち新聞社 電話2551番
毎旬5の日発行 1部70円1ヵ月200円 1ヵ年前納2,000円

プロ精神で町政を

岡氏が決意を表明

足寄町長選に立起を予定している前教育長の岡靖氏は、十八日に林業会館でひらいた明日の足寄を創る会と同氏の後援会主催の「はげます会」の席上で、つぎのように才一声ともいうべき形で出馬の決意を表明しました。

『私は三月三日付で三十五年間の行政マンの一応区切りをつけたが、この区切りということは、なにを意味するかというと、足寄町政というものはかくかようでなければならないという信念から辞表を提出した、こんご私が町長という座につくのではなく、決してそのような指導力も政治力もないが、国会議員の本名先生、中川先生、美濃先生など十勝を代表する方々のご支援をうけていることを信じており堂垣内知事にしても私は一辺倒に偏しない町民党的な立場でお力添えを頂いて足寄町の進展に貢献したい、ここに立派な花束を先生方、知事さんから頂いて恐縮だが、この花よりもみなさんが大切です

私の考え方として六項目をかかげているが、人脈なければ政治はできない、町長というものは職名であって、必ずしも足寄町で一番偉いものではない、町長は役場のなかの長であっていわゆるサラリーマン、いわゆるプロ精神でみなさま方の要求に応じ、みなさま方が生活なさるように家庭のなかの一分野と判断しており、家庭も町政も同じで人間的なもの人間尊重でなければ政治はやっていけない

そこで私は西足寄村時代から嶺、門伝、羽磨、川上、高橋、小林という先輩の方々から教え込まれて現状の教育長を八年やり、藤村さん、日裏さんもおりこれらの方々のお話しをききいま反省しており、昨日、嶺さんとお話しをしましたが『町長は厳しいぞ、しかしお前ならやれるんではないか頑張れ』と涙を流していわれました

小林さんは嶺さんを会長としており、同じ流れのなかで政治論争をする苦しいものがあるが、ただ一点ここに小林さんを非難するわけではなく私を引き立て頂き感謝しているが小林さんにはプロ精神が欠けている面で私が今回走り出たわけです

小林さんは決して悪い人ではなくただひとつ行政マン的なプロ精神に欠ける、人間に欠ける点があるのではなかろうかという反論に立って、ここで町長という座をかけて争うことは遺憾で町長に弓を射すのは苦しいが町の発展のために止むを得ず、苦しんだが三月三日に辞表を出したわけです

私は現在これこれという行政への考え方を打ち出すことができないのは八年間の教育行政のなかに閉じ込められていたので相当に時代の差があり、私はここでこれをやると断言できないが、人間尊重の基盤に立って産業の振興を才一に、才二次、才三次産業について充分の理解をしているが、足寄町の立地条件は農畜林の基礎がなければ発展しないと考えています

しかし私は八年間教育行政を預かり大変参考になった、内から眺めた足寄町、外から眺めた足寄町、世界から眺めた足寄町という観点のなかに、町の位置づけを考えた場合、教育行政というものは人間の尊さを知り、特に足寄町の先生方、北教組のみなさんに特別のご支援を頂き、先生は大切だと考えています。

今回立たれる保格博夫先生は立派な方で、こういう先生に道議会で活躍して頂きたいと念願しており保守系だから革新系だからでなく先生は大切であるから一人くらいは道議会議員にすべきだと考えます

これは私の考えでみなさんと意を異にするかもしれないが、先生という大切なものは行政のなかにもなくてはならないと考えます

さらにここで私は議会を尊重しなければならない、どうかみなさん、足寄町長を選挙する前に、頭に入れる前に、まず才一にだれを町議会議員に出すか、それを考えてから足寄町長を考えて下さい』

このあと我妻会長から『ただいま岡靖さんから所信のほど、あるいはもし町長になった場合はどうするんだと、なになにどうするとは一言も述べなかったがしかしその根元には人間を尊重する一要するに全体がひとしく同じ場において協調するということをハッキリいわれた、ここで『明日の足寄町を創る会』に入っている方も入っていない方もここにお集りの全員で、きたる四月の町長選に岡靖氏を候補者として推薦したいがどうか』との提案があって、これに全員が拍手で賛成し、松井清和氏の発声で会の万才を三唱して、岡氏をかこんでの懇談会に入って町長選に向っての質疑がおこなわれました。

あの町この街

★あの人はあの候補と縁戚関係にあるから、あの人はあの候補と近しいしお世話になっているからとか、この地区からこの候補が立つのでといった調子で、その候補者の人物や政策はそっちのけにして一票が右往左往するような末端の町村選挙は、まるで義理人情のやくざの世界。

★投票所ではだれに投票したのかわからないしくみになっているので、だれに遠慮することもないので、自分の判断で自由に投票するのが選挙の原則。

この末端選挙

★全住民から尊敬されている立派な人物であるならば自然発生的に後援会もできようというものですが、猫も勺子もインスタント後援会の乱立で、畑のなかにも連絡事務所の立看板。

★公示ともなれば朝から晩まで『お願いします』の選挙カーの横行で、騒音公害の迷惑などはおかまいなしテレビもせずに〝投票こじき〟ぶりに徹しなければならないのでは、とてもまともな神経の持主にはたえられない末端選挙。

★日ごろは何々党の役員として名刺をふりまわしてその党の公認候補のために動いておりながら、イザ自分の選挙になると無所属というのもおかしなものだし、自分の事業の都合から何党から何党へとわたり歩いたり、国や道や町などと営利関係をもつ人がそれぞれの選挙運動の前面に出るのはどんなものか－選挙は日常の政治活動の一環であり、一貫したものであること。

新人登場

町議選に向つて！

大塚正夫さん

足寄町旭町

稲荷神社の参道わきの小高いところにある大塚さんの家は、明治四十一年に足寄外三村（ラワン、陸別、利別）戸長役場がおかれ、その後昭和九年まで足寄村役場だったところで、大塚さんは収入役の息子、奥さんは村長の娘という組合せ

明治四十二年にラワンで生れて、お国の福島県立農学校を大正十五年に卒業していらい農華指導員として二十年にわたつて村農会の技師、村農業会の常務理事、道農業会釧路支部の課長をつとめたあと、農林省の統計調査事務所を足寄に開設して出張所長として二十年のあいだには全統計労動組合帯広部の執行委員長にも推されたし、森林組合長もつとめたし、町の総合計画審議会長でもあった人

四十三年にお役所づとめを〝卒業〟したあとは
釧路行政監察局相談員
釧路地裁調停委員
町農業委員
町社会教育委員
町社会福祉協議会福会長
町行政相談連絡委員会長
町区画整理審議会副会長
明るい選挙推進協議会長
農業後継者対策専任委員
として各方面で住民のために活躍中ですが、特に結婚適令期をすぎながら花嫁が得られない農業後継者が現在百六名もいることでこれが農業振興を妨げる最大の障害であるとして専任の嘱託委員としてとりくんでいるものの、事務局は農業委員会にあつて予算もないこと、たとえば福島県にいつて呼びかけたら女子青年が集団で北海道農業を研修してみたいとの希望もあつたがそれを迎え入れる予算がない、研修といつてもその間働いてくれて人間関係も生ずるのでこうした交流をぜひ実現したいとのこと。

農家一戸平均三百四十万円の負債が問題であり、肉牛が十億円もの値下りで深刻な影響をうけたが、計画出荷により畜産加工場を考えるべきで、町有林二千七百㌶、民有林一万㌶の造林にともない小径木の加工場が必要となる、老人医療無料化は六十五才に引下げるべきだとし、稲荷山公園の整備や利別川の築堤などについて強調。

町長選の結果がどうであれ保守、革新の両派の対立が予想される新議会に大塚氏が登場すれば、年輩の公平な立場で重要な役割を果すものとして期待されている存在。

多治見敬一さん

足寄町大誉地

このところ毎年、赤ハチ巻きの町長や組合長を先頭に立てて全農民による畑作酪農危機突破大会をひらいて政府をつきあげなければならないように、保守的とみられていた農民層がしだいに革新化しつつあるのが現状で、このいきおいに推し出されたのが多治見氏。

大正十年に岐阜県の生れ三才のときに長尾木材につとめる父とともに来町して当時の経済不況で同社が引きあげたあと社有林の管理をしながら農家として定着 教員養成所（現在の学大）の試験に合格したものの家の都合でとりやめ、そのうち兵隊にとられて中国を転戦したときに、大地主にいじめられている小作農民の姿をみて農民運動に関心をもつたそうで、終戦後帰国してから農民同盟の執行委員として活躍、農協の理事にも選ばれ、現在は共済組合の監事、大誉地酪農振興会長で、町の公平委員。

昨年の十一月に大誉地地区連絡協議会で町議選対策にとりかかつたさい、これまでのように保守派の候補者だけでは地元の革新派の協力は得られないし、それでなくても過疎化で有権者がへつていて二議席確保は難しいという判断から、現議員の横田文治氏とともに革新派がなつとくする多治見氏に白羽の矢が立つたもので、これに対して社会党と地区労では今春になって本人や地域の意向を確かめたうえで推薦を決定。本人の個人票や地域票の不足分を社会党と地区労がカバーして当選をはかっていくとともに、これまで革新空白の大誉地地区にクサビ・

明るいスナック
シャンプル
足寄町南一区 T 二〇三三

不動産についての御相談は
調査 売買 あっせん 管理 分譲
代行 登記 損害保険 代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目 T二三四五

一五〇キロ高速ホイルバランサー
レッカー車 フレーム修正機
RM アクリル 調色機
新鋭機 導入！
札幌陸運局認証 整備 板金 塗装
ムトウ自動車工業
足寄町 T 二五七八 夜間専用 三七一九

家具 建材 アルミサッシ
既製家具から注文建具
住宅産業に奉仕する！
有限会社 桜井家具建具店
足寄町北五区 T 二三六二 工場西五区

技術に生きる！
ビクター
テレビ ラジオ レコード ステレオ
－あらゆる電気器具－
有限会社 ミネ・デンキ
足寄町三条通り T 2642

春物衣料が沢山入りました
新入学を控えてお子様のお服からお母さまのお服まで新型がいっぱいです。
夢と希望を乗せての前田呉服店からのお知らせ！ とにかくご来店下さい 今すぐに！
なお足中女子制服別注も大至急ご用命下さい
京呉服展示会も盛況の裡に終りましたが晴上展示物は続けていますのでご用命下さい。
株式会社 前田呉服店
足寄町駅前商店街 T二〇二二